

策定機関	策定/改正/廃止	規格番号 (制定の場合、 案の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定・改正・廃止する理由(必要性)	期待効果	制定項目又は改正点	制定・改正に伴う 廃止JIS	対応する国際規格番号及 び名称	対応する国際規格との 対応の程度	調査基準1: (JIS番号・案の産業標準化の 対象)	調査基準2: (JIS番号・案の法律の 目的)	調査基準3: (調査標準化の利益・ 欠点)	調査基準4: (我が国に採り得る 分野の判断基準)	調査基準5: (JIS規格をJIS化する 判断基準)	策定作成者	作成開始予定
JSA	基本	制定 番号調整中	製品の幾何特性仕様 (GPS)—マトリックス モデル	Geometrical product specifications (GPS)—Matrix model	この規格は、「製品の幾何特性仕様(GPS)規格体系の 概要及び構造を規定し、案の形で提供するものである。 ISOの全てのGPS規格群は、ISO 14638:2015に規定され た新しいGPSマトリックスモデル(案)を標準化し、半 径GPS規格の位置づけを明示するよう整理されている。 我が国においても、近きものづくりのさらなる精密化、こ のユニーク化、グローバル化に伴い、製品の設計及び部 品製造、さらにその後の部品組立といった製造工程が、 それぞれ別の事業者の上で行われ、分割して実施され る業態が増えている。その結果、部品間のはみあいの 不具合発生、不良率の増大等の問題が生じてきている。 一方、ISO規格をのこした多くのGPS規格群のJISの改 正・制定が進んでおり、これまではTRのものしかなく英語 版である従来のISO/TR14638:2015(案)に差別化はら ばらに参入するもなかったが、今後ISO規格として新しい ISO 14638:2015が制定発行されたこともあり、国際規格 に追従するGPSマトリックスモデルを半導体にも適用するこ とにより附帯書に規定する必要がある。 このため、JISの全てのGPS規格群のGPSマトリックス モデルの中で実用する用途の統一、GPS規格群の一 層の理解のため、増進を図り併せて国内で最大限に活 用するため、ISO 14638:2015を基にこの国際規格に 参入することの規格を制定する必要がある。	この規格の制定によって、GPSマトリックスモデル内で使 用する用語の統一のほか、GPSマトリックスモデルに基づ く全てのGPS規格群の分類・整理が進み、それぞれに必 要な場面でGPS規格群のうち適切なGPS規格の適用が明 確化されることにより、製品の設計・製造・組立におい た工程が容易になることが期待できる。またさらに、製品 を設計・製造・組立する市場の混乱を低減することができ る。さらに、製品の流通・受渡し・取引が円滑化することが 可能となり、GPS規格の利用者の理解が進み、または利 便性が進み、より良い製品づくりに貢献できる。 製品の設計・製造・組立する現場の利用者によるGPS規 格の正しい理解及び普及へつながるものとして、自身が 利用しようとするGPS規格のGPS規格群における位置付 けをより深く理解する上で大きな役割を果たし、広く使 用を促すことにつながっていくことから、この規格がもの づくりに社会に定着することで、相場の競争がもたらす 含む)の拡大が期待できる。	—	ISO 14638:2015 Geometrical product specifications (GPS)—Matrix model	01	第2条の該番号・ 第2号(設計方法、製図方法)	対象事項: 設計方法及び製図方法(組 工業品全般)	法律の目的に適合し ている。	利点: ア、イ、ウ、エ 欠点: いづれも該当しない。	—	1. 国際標準をJIS化する などの場合	案	2020年3月